

税務署交渉の続き

③は、給付金で助かったという声が多いものの、一方で住民税・国保料にまで跳ね返る仕組みに「売上が大きく減り大変な中でもらった給付金。そこからさらに高い税金や国保を払うのは難しい」「給付金をもらい丸2年頑張ってきたが、結局廃業せざるをえなかった業者も少なくない。苦しい状況を緩和するための給付金に課税する

のはおかしい」と業者の実情も口々に訴えられました。

④の納税緩和措置は「個々の実情をよく聞きながら、使える措置を案内していく」と回答。税務調査は「必要な感染症対策をとりながらおこなう」と、これからの調査件数の増加が予想される回答でした。

きんたの里でゆったりとした一日

可部北支部が16名で支部総会開催

6月最初の日曜日の

5日、長引くコロナ禍



寺本支部長の音頭で乾杯

で、久しぶりの遠出、島根県浜田『湯屋温泉リフレパーク・きんたの里』で、可部北支部の第37回総会をおこないました。初参加の会員さんを含め12会員16名の参加で、迎いの車に全員マスクを付けて、密も気をつけての出発。途中から生憎の雨になりましたが、それはそれで、しっかりととした新緑を

目に、小声の会話も時々して間に到着。早速に用意された部屋で支部総会。寺本支部長の挨拶と進行で総会資料を読み合わせ、活動・会計報告を確認しました。特に、可部北支部は会員が大きく減っているのに、皆さんの紹介等で会員増になるようにお願いしますと声掛けがありました。

役員選出、各総会の代議員も補欠を含め決まりました。又、「当分出来なかった役員会も復活させましょう」と。婦人部の小集会を

【可部北支部 山下純子記】

正に執行されるべきもの」と答えた上で、「相談内容によっては税理士法に抵触する恐れがある」と、言葉を選びながらも立場は変えない回答でした。

⑥の税務運営方針は、これまで通り、職員への教育と周知徹底をしていると答えました。

その他、電子帳簿保存法や、青色申告控除額の優遇など、国が電子化に進んでいる中で、電子帳簿保存で修正履

歴などが残る機能を持つた特定の会計ソフトを国税庁が案内しているのか」との声も出され、「自主記帳・自主申告を前提に、調査ではカレンダーやチラシ裏へのメモも認められていく。電子帳簿でない」とダメになると、ほとんどの業者がついていけない」と業者の実態とかけ離れた法改正に怒りの声が出されました。

7月に入ると人事異動があり、税務調査が

本格化してきます。最後に竹本部長が「調査などで何か不当事例があれば、すぐにまた抗議に来ます」と話し、今回の交渉を終わりました。

【陶山記】

民商県連(広島県商工団体連合会)総会 年間増勢を力に、更なる前進を誓う

6月5日(日)、広島県連の総会がRCC文化センターで、代議員定数91名中81名の参加で開催されました。北民商からは県連役

員の横畑さん、久村さん、伊村さん、陶山の4名と、選出代議員の大久保さん、伊勢さん、竹本さん、磯邊さん、小田さんの計9名が出席しました。

加賀県連会長の開会あいさつでは、「民商は集まって話し合いながら活動する団体。コロナ禍での業者の苦難に寄り添った相談活動で力を発揮してきたが、

これからはコロナ後を迎え、要求も様々に増えてくる。この様な情勢だからこそ、民商の力の発揮が求められる」と話されました。

【陶山記】



全会一致で採択

- 13日(月) 理事会(佐東公民館)
- 14日(火) 要求運動部会
- 16日(木) 事務局長会議(午前)
- 17日(金) 陽気な道場
- 18日(土) 共済会三役会
- 20日(月) 県青協幹事会
- 拡大デー(未定)

はろこい

滞納・多重債務・サラ金のご相談は 『陽気な道場』へ 毎週木曜日 夜7時から

税務調査・申告・納税のご相談は 『税金道場』へ 毎月第1・3火曜日 夜7時から